

ANNUITY REPORT ボイジャー — VOYAGER

投資型年金I

変額個人年金保険

vol. **302**

2025年2月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されて
おりますので、必ずご確認ください。



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動あんしん生命

ご契約者さまへ

当資料は、ご契約者さまに、各特別勘定の運用状況、資産の内訳等をお知らせするための資料です。当資料には「ご契約状況のお知らせ」とは異なり、個々のご契約の運用状況は掲載されておりませんので、ご了承ください。

■積立金の移転（スイッチング）について

- ・積立金の移転（スイッチング）は、すべての特別勘定の積立金をご指定の特別勘定の割合に再配分するしくみです（一部の特別勘定の種類や割合を変更するものではありません）。
- ・複数の特別勘定を組み合わせることもできます。1%単位で、合計が100%になるようにご指定ください。

ご注意

定期的増額を行っているご契約の場合、「繰入割合の変更」もあわせてお手続きください。
リバランスを設定されているご契約の場合、「リバランスの設定・解除」もあわせてお手続きください。

■積立金の移転（スイッチング）の実行日について

「ユニットプライスの評価基準日」が異なる特別勘定間の積立金の移転（スイッチング）では、移転手続きする契約の移転前および移転後のすべての特別勘定のうち、最も遅い日が適用されますのでご注意ください。

種類	特別勘定の名称	ユニットプライスの評価基準日
株式型	世界株式ヘッジ	会社受付日の翌々営業日
	世界株式	
	日本株式成長株	会社受付日の翌営業日
	日本株式小型成長株	
	日本株式BR	
	東京海上日本株式	
	日本株式インデックス	
	欧州株式	会社受付日の翌々営業日
米国株式		
総合型	世界バランス	会社受付日の翌々営業日
債券型	世界債券ヘッジ	会社受付日の翌営業日
	世界債券	
	米国債券	
金融市場型	マネー・プール	会社受付日の翌営業日

■積立金の移転（スイッチング）のお手続きの方法について

積立金の移転（スイッチング）はインターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」によるお手続きが可能です。また、書面（請求書）によるお手続きも可能です。

●インターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」：<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

当社ホームページの「変額保険・変額年金保険情報サイト」内の「ご契約者さま専用ページ」よりお手続きください。
お手続きが可能な時間：9：00～21：00
会社受付日：お手続きいただく時間帯に応じて下表の日を会社受付日として取り扱います。

当社が受付を完了した時刻	会社受付日
平日 15：29まで ^{※1} に受付を完了した場合	当日を受付日とします。
平日 15：30以降 ^{※2} に受付を完了した場合	翌営業日を受付日とします。

(注) 土曜、日曜、祝日および年末年始は、翌営業日を会社受付日として取り扱います。

※1 2024年11月5日より、東京証券取引所の取引時間延長に伴い、14：59⇒15：29に変更になりました。

※2 ※1同様の理由から、15：00⇒15：30に変更になりました。

「ご契約者さま専用ページ」は、当社ホームページからご登録（※）いただけます。

ご登録後、ログインに必要なID・仮パスワードを簡易書留でお送りします。

<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

（※）ご契約者さまが法人または未成年の場合は、書面（請求書）によるお手続きが必要です。

●書面（請求書）によるお手続き

巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡くださいますようお願い申し上げます。

目次

種類	特別勘定の名称	資産運用 関係費用*1	掲載ページ
株式型	世界株式ヘッジ ■ 投資対象となる投資信託等：キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1*2 □ 運用会社：キャピタル・インターナショナル □ 円建/残高約438.3億円	0.77% (税込)程度	3p
株式型	世界株式 ■ 投資対象となる投資信託等：キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1*2 □ 運用会社：キャピタル・インターナショナル □ 円建/残高約438.3億円	0.77% (税込)程度	4p
株式型	日本株式成長株 ■ 投資対象となる投資信託等：フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3*2 □ 運用会社：フィデリティ投信 □ 円建/残高約1,389.6億円	0.968% (税込)程度	5p
株式型	日本株式小型成長株 ■ 投資対象となる投資信託等：フィデリティ・日本小型株・ファンドVA3*2 □ 運用会社：フィデリティ投信 □ 円建/残高約48.9億円	1.078% (税込)程度	6p
株式型	日本株式BR ■ 投資対象となる投資信託等：JDF日本株式ファンド □ 運用会社：ブラックロック・ジャパン □ 円建/残高約4.4億円	0.924% (税込)程度	7p
株式型	東京海上日本株式 ■ 投資対象となる投資信託等：日本株アクティブファンド*3 □ 運用会社：東京海上アセットマネジメント □ 円建/残高約4.3億円	0.715% (税込)程度	8p
株式型	日本株式インデックス ■ 投資対象となる投資信託等：日本株式インデックス・ファンドVA1*3 □ 運用会社：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ □ 円建/残高約11.9億円	0.275% (税込)程度	9p
株式型	欧州株式 ■ 投資対象となる投資信託等：Janus Henderson Pan European Fund □ 運用会社：Janus Henderson □ ユーロ建/残高約2,021.8億円(2024年10月末現在)	1.0%程度	10p
株式型	米国株式 ■ 投資対象となる投資信託等：北米株式ファンド(適格機関投資家専用) □ 運用会社：日興アセットマネジメント □ 円建/残高約138.5億円	1.045% (税込)	11p
総合型	世界バランス ■ 投資対象となる投資信託等：ダ・ヴィンチVA □ 運用会社：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント □ 円建/残高約26.5億円	0.99% (税込)程度	12p
債券型	世界債券ヘッジ ■ 投資対象となる投資信託等：JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり) □ 運用会社：ブラックロック・ジャパン □ 円建/残高約38.4億円	0.528% (税込)程度	13p
債券型	世界債券 ■ 投資対象となる投資信託等：JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし) □ 運用会社：ブラックロック・ジャパン □ 円建/残高約16億円	0.528% (税込)程度	14p
債券型	米国債券 ■ 投資対象となる投資信託等：Janus Henderson Flexible Income Fund □ 投資顧問会社：Janus Henderson Investors US LLC □ 米ドル建/残高約766.2億円(2024年10月末現在)	0.55%程度	15p
金融市場型	マネー・プール ■ 投資対象となる投資信託等：特に定めません □ 運用会社：特に定めません	*4	16p

(米ドル/円=150.74 ユーロ/円=159.2)

※残高と為替レートは2024年11月末現在

*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

*2 適格機関投資家専用

*3 適格機関投資家限定

*4 金利情勢、投資対象とする短期金融商品によって変動します。

世界株式ヘッジ (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】1999年8月1日
【資産分類】世界株式
【運用方針】
日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
原則として、為替ヘッジを行い、円ベースでの安定的な収益を追求します。*
*為替ヘッジは、東京海上日動あんしん生命にて実施します。
【投資対象となる投資信託】
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	177.90	-
2024年 1月31日	177.49	0.88%
2月29日	182.16	2.63%
3月31日	185.50	1.83%
4月30日	178.97	-3.52%
5月31日	184.89	3.31%
6月30日	185.93	0.56%
7月31日	186.89	0.52%
8月31日	189.03	1.14%
9月30日	194.39	2.84%
10月31日	189.70	-2.42%
11月30日	189.13	-0.30%
12月31日	184.76	-2.31%
2025年 1月31日	191.05	3.40%
3ヶ月変化率		0.71%
6ヶ月変化率		2.23%
1年変化率		7.64%
3年変化率		7.39%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	17	1.7%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	1,021	98.3%
その他	-	-
資産合計	1,038	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,038	100.0%

2025年1月30日から2月18日の間、当社ホームページに掲載した「特別勘定レポート2025年1月」の下記項目の金額および構成比に誤りがございました。

- 現預金の構成比：【誤】3.5% 【正】3.3%
- 有価証券等の金額と構成比：【誤】919百万円 96.5% 【正】987百万円 96.7%
- 資産合計：【誤】953百万円 【正】1,020百万円
- 純資産総額：【誤】953百万円 【正】1,020百万円

投資対象となる投資信託について

キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1 (適格機関投資家専用) の基本情報

【運用会社】キャピタル・インターナショナル
【運用対象】日本を含む世界主要国の株式など
【ベンチマーク】MSCI-World Index

運用状況

■国別・地域別内訳※ (2025.1末現在)

国名	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比	ポートフォリオ 銘柄数
北米	76.5%	54.5%	112
アメリカ	73.6%	53.5%	106
カナダ	3.0%	0.9%	6
欧州・中近東	15.6%	30.2%	53
イギリス	3.5%	5.9%	12
フランス	2.7%	9.8%	14
スイス	2.3%	2.2%	6
ドイツ	2.3%	3.9%	7
オランダ	1.1%	1.8%	2
ノルウェー	0.1%	0.0%	0
その他	3.7%	6.6%	12
アジア・オセアニア	7.9%	8.3%	24
日本	5.3%	5.9%	18
香港	0.4%	1.1%	3
その他	2.2%	1.3%	3
その他地域	-	3.0%	7
キャッシュ他	-	4.0%	-
合計	100.0%	100.0%	196

■業種別内訳※ (2025.1末現在)

業種	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比
情報技術	24.9%	19.7%
資本財・サービス	10.7%	18.2%
金融	16.5%	14.2%
ヘルスケア	10.6%	12.2%
一般消費財・サービス	11.3%	8.8%
コミュニケーション・サービス	8.5%	7.0%
生活必需品	6.0%	5.1%
公益事業	2.4%	3.9%
エネルギー	3.7%	3.3%
素材	3.3%	2.8%
不動産	2.1%	0.6%
キャッシュ他	-	4.0%
合計	100.0%	100.0%

■組入上位10銘柄※ (2025.1末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 ブロードコム	アメリカ	情報技術	3.3%
2 アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.0%
3 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.9%
4 アップル	アメリカ	情報技術	2.5%
5 台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング	台湾	情報技術	2.2%
6 サフラン	フランス	資本財・サービス	2.1%
7 ノボ ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	2.0%
8 JP モルガン・チェース	アメリカ	金融	2.0%
9 SAP	ドイツ	情報技術	1.8%
10 GEエアロスペース	アメリカ	資本財・サービス	1.6%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

2025年1月の世界の株式市場は、現地通貨ベース、円ベースともに上昇しました。現地通貨ベースで同市場を見ると、前半は米国の雇用統計の発表を受けて景気の底堅さが意識され、利下げ観測が後退するなかで軟調な動きが続きました。後半は米国でインフレの鈍化傾向が確認されたことや、米新政権の政策姿勢が懸念されていたほど強硬ではないと受け止められたことなどから、上昇に転じました。セクター別では、情報技術を除くすべてが上昇する展開となり、金融やコミュニケーション・サービスの上昇率が比較的高くなりました。
当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・ファンド・グローバル・エクイティ・マザー・ファンドを通じてキャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) に投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は+0.83%となりました。キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) における運用に関しては、セクター別では情報技術や一般消費財・サービスにおける銘柄選択などがプラスに寄与した一方、コミュニケーション・サービスやヘルスケアにおける銘柄選択などはマイナスに寄与しました。国別では米国の銘柄選択などがプラス要因となったのに対し、スイスの銘柄選択などはマイナス要因となりました。

当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等によって一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】1999年8月1日
 【資産分類】世界株式
 【運用方針】
 日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として、為替ヘッジを行いません。
 【投資対象となる投資信託】
 キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	246.31	-
2024年 1月31日	331.11	4.70%
2月29日	346.63	4.69%
3月31日	355.89	2.67%
4月30日	355.84	-0.02%
5月31日	367.98	3.41%
6月30日	380.26	3.34%
7月31日	365.64	-3.85%
8月31日	355.58	-2.75%
9月30日	363.02	2.09%
10月31日	378.08	4.15%
11月30日	372.18	-1.56%
12月31日	381.38	2.47%
2025年 1月31日	387.07	1.49%
3ヶ月変化率		2.38%
6ヶ月変化率		5.86%
1年変化率		16.90%
3年変化率		57.15%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	98	3.0%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	3,197	97.0%
その他	-	-
資産合計	3,296	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	3,296	100.0%

投資対象となる投資信託について

キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1 (適格機関投資家専用) の基本情報

【運用会社】キャピタル・インターナショナル
 【運用対象】日本を含む世界主要国の株式など
 【ベンチマーク】MSCI-World Index

運用状況

■国別・地域別内訳※ (2025.1末現在)

国名	ベンチマーク		ポートフォリオ
	構成比	構成比	
北米	76.5%	54.5%	112
アメリカ	73.6%	53.5%	106
カナダ	3.0%	0.9%	6
欧州・中近東	15.6%	30.2%	53
イギリス	3.5%	5.9%	12
フランス	2.7%	9.8%	14
スイス	2.3%	2.2%	6
ドイツ	2.3%	3.9%	7
オランダ	1.1%	1.8%	2
ノルウェー	0.1%	0.0%	0
その他	3.7%	6.6%	12
アジア・オセアニア	7.9%	8.3%	24
日本	5.3%	5.9%	18
香港	0.4%	1.1%	3
その他	2.2%	1.3%	3
その他地域	-	3.0%	7
キャッシュ他	-	4.0%	-
合計	100.0%	100.0%	196

■業種別内訳※ (2025.1末現在)

業種	ベンチマーク		ポートフォリオ
	構成比	構成比	
情報技術	24.9%	19.7%	
資本財・サービス	10.7%	18.2%	
金融	16.5%	14.2%	
ヘルスケア	10.6%	12.2%	
一般消費財・サービス	11.3%	8.8%	
コミュニケーション・サービス	8.5%	7.0%	
生活必需品	6.0%	5.1%	
公益事業	2.4%	3.9%	
エネルギー	3.7%	3.3%	
素材	3.3%	2.8%	
不動産	2.1%	0.6%	
キャッシュ他	-	4.0%	
合計	100.0%	100.0%	

■組入上位10銘柄※ (2025.1末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 ブロードコム	アメリカ	情報技術	3.3%
2 アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.0%
3 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.9%
4 アップル	アメリカ	情報技術	2.5%
5 台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング	台湾	情報技術	2.2%
6 サフラン	フランス	資本財・サービス	2.1%
7 ノボ ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	2.0%
8 JP モルガン・チェース	アメリカ	金融	2.0%
9 SAP	ドイツ	情報技術	1.8%
10 GEエアロスペース	アメリカ	資本財・サービス	1.6%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

2025年1月の世界の株式市場は、現地通貨ベース、円ベースともに上昇しました。現地通貨ベースで同市場を見ると、前半は米国の雇用統計の発表を受けて景気の底堅さが意識され、利下げ観測が後退するなかで軟調な動きが続き、後半は米国でインフレの鈍化傾向が確認されたことや、米新政権の政策姿勢が懸念されていたほど強硬ではないと受け止められたことなどから、上昇に転じました。セクター別では、情報技術を除くすべてが上昇する展開となり、金融やコミュニケーション・サービスの上昇率が比較的高くなりました。
 当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンド・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) に投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は+0.83%となりました。キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) における運用に関しては、セクター別では情報技術や一般消費財・サービスにおける銘柄選択などがプラスに寄与した一方、コミュニケーション・サービスやヘルスケアにおける銘柄選択などはマイナスに寄与しました。国別では米国の銘柄選択などがプラス要因となったのに対し、スイスの銘柄選択などはマイナス要因となりました。

・当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報で東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式成長株 (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】1999年8月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
【投資対象となる投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	151.91	-
2024年 1月31日	184.14	4.98%
2月29日	192.00	4.27%
3月31日	198.02	3.14%
4月30日	193.08	-2.50%
5月31日	195.35	1.18%
6月30日	200.98	2.89%
7月31日	198.63	-1.17%
8月31日	191.67	-3.50%
9月30日	197.66	3.12%
10月31日	192.07	-2.83%
11月30日	189.88	-1.14%
12月31日	198.74	4.67%
2025年 1月31日	195.07	-1.85%
3ヶ月変化率		1.56%
6ヶ月変化率		-1.80%
1年変化率		5.93%
3年変化率		28.41%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	58	3.4%
有価証券等 フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA3	1,659	96.6%
その他	-	-
資産合計	1,717	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,717	100.0%

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用) の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)

運用状況

■市場別構成比 (2024.12末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.2%
東証スタンダード	1.6%
東証グロース	0.4%
その他市場	-
現金・その他	1.7%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比(2024.12末現在)

業種	構成比
1 電気機器	19.2%
2 銀行業	9.8%
3 輸送用機器	8.0%
4 小売業	6.5%
5 サービス業	6.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ソニーグループ	電気機器	4.5%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.4%
3 日立製作所	電気機器	4.0%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.5%
5 リクルートホールディングス	サービス業	3.4%
6 伊藤忠商事	卸売業	3.3%
7 キーエンス	電気機器	2.9%
8 東海海上ホールディングス	保険業	2.7%
9 トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
10 KDDI	情報・通信業	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 170)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

当月の東京株式市場は、トランプ米政権による関税強化策や先端半導体の需要減速への警戒感などから、上値が重い展開となりました。トランプ政権の政策不透明感や内外金利の上昇が投資家心理を圧迫する中、日銀正副総裁の発言を受けて次回金融政策決定会合での利上げ観測が高まり、円高が進行したことなどから、月半ば過ぎまでは株価の軟調な推移が続きました。トランプ氏が米大統領に就任した後、対中関税の即時発動が見送られたこと、また米国で人工知能(AI)を規制する方針が転換され、AI開発の巨額投資が期待されたことなどを背景として、株価は上昇に転じました。日銀による利上げの影響は限定的となる一方、中国の新興企業が低コストで高性能な生成AIモデルを開発したことが報道されると、先端半導体の需要減速が警戒され、半導体関連株が売られる展開となりましたが、月末にかけては決算発表が本格化する中で好業績銘柄への買いが入り、底堅い推移となりました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+0.14%、日経平均株価は-0.81%でした。

・当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があります。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式小型成長株 (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2000年7月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の小型株式を中心に、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
【投資対象となる投資信託】
フィデリティ・日本小型株・ファンドVA3

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	115.83	-
2024年 1月31日	134.22	0.56%
2月29日	139.60	4.01%
3月31日	140.86	0.90%
4月30日	138.04	-2.00%
5月31日	138.85	0.59%
6月30日	146.03	5.17%
7月31日	146.14	0.07%
8月31日	140.77	-3.68%
9月30日	145.82	3.59%
10月31日	138.92	-4.73%
11月30日	137.84	-0.78%
12月31日	142.88	3.66%
2025年 1月31日	140.04	-1.99%

3ヶ月変化率 0.80%
6ヶ月変化率 -4.18%
1年変化率 4.34%
3年変化率 20.89%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	9	1.5%
有価証券等 フィデリティ・日本小型株・ ファンドVA3	584	96.2%
その他	13	2.3%
資産合計	607	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	607	100.0%

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・日本小型株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用) の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】ラッセル野村・ミッドスマールキャップ・インデックス(配当金込)

運用状況

■市場別構成比 (2024.12末現在)

市場	構成比
東証プライム	89.3%
東証スタンダード	7.1%
東証グロース	2.5%
その他市場	-
現金・その他	1.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比(2024.12末現在)

業種	構成比
1 化学	8.1%
2 サービス業	7.6%
3 電気機器	6.8%
4 機械	6.7%
5 小売業	6.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 リゾートトラスト	サービス業	3.1%
2 大阪ソーダ	化学	2.8%
3 宝ホールディングス	食料品	2.2%
4 マニー	精密機器	2.1%
5 スズキ	輸送用機器	2.0%
6 長瀬産業	卸売業	1.9%
7 三井海洋開発	機械	1.9%
8 Keeper 技研	サービス業	1.9%
9 A-Z-COM丸和ホールディングス	陸運業	1.8%
10 サイゼリヤ	小売業	1.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 87)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

当月の東京株式市場は、トランプ米政権による関税強化策や先端半導体の需要減速への警戒感などから、上値が重い展開となりました。トランプ政権の政策不透明感や内外金利の上昇が投資家心理を圧迫する中、日銀正副総裁の発言を受けて次回金融政策決定会合での利上げ観測が高まり、円高が進行したことなどから、月半ば過ぎまでは株価の軟調な推移が続きました。トランプ氏が米大統領に就任した後、対中関税の即時発動が見送られたこと、また米国で人工知能(AI)を規制する方針が転換され、AI開発の巨額投資が期待されたことなどを背景として、株価は上昇に転じました。日銀による利上げの影響は限定的となる一方、中国の新興企業が低コストで高性能な生成AIモデルを開発したことが報道されると、先端半導体の需要減速が警戒され、半導体関連株が売られる展開となりましたが、月末にかけては決算発表が本格化する中で好業績銘柄への買いが入り、底堅い推移となりました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+0.14%、日経平均株価は-0.81%でした。Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス(配当込)が+0.37%、東証グロース市場250指数は+1.01%となり、新興市場は堅調でした。

・当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金転載費用、貸付利息等を控除する場合があります。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年4月1日
 【資産分類】日本株式
 【運用方針】
 日本の株式の中から、企業の収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して選定した銘柄に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
 【投資対象となる投資信託】
 JDF日本株式ファンド

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	13	3.0%
有価証券等		
JDF日本株式ファンド	446	97.0%
その他	—	—
資産合計	460	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	460	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	96.26	—
2024年 1月31日	134.60	6.43%
2月29日	144.79	7.58%
3月31日	151.70	4.77%
4月30日	150.76	-0.62%
5月31日	156.36	3.71%
6月30日	158.35	1.27%
7月31日	156.87	-0.93%
8月31日	149.60	-4.64%
9月30日	153.07	2.32%
10月31日	150.15	-1.91%
11月30日	150.74	0.39%
12月31日	157.58	4.54%
2025年 1月31日	154.52	-1.94%
3ヶ月変化率		2.91%
6ヶ月変化率		-1.50%
1年変化率		14.81%
3年変化率		60.53%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

JDF日本株式ファンドの基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン
 【運用対象】日本株式
 【ベンチマーク】東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

運用状況

■市場別構成比 (2025.1末現在)

市場	構成比
東証プライム	97.1%
東証スタンダード	1.0%
キャッシュ等	1.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位10業種構成比 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	20.8%
2 輸送用機器	12.8%
3 機械	8.0%
4 化学	7.3%
5 銀行業	6.8%
6 医薬品	4.9%
7 不動産業	4.6%
8 小売業	4.6%
9 サービス業	4.4%
10 建設業	3.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	4.9%
2 ソニーグループ	電気機器	4.7%
3 日立	電気機器	3.9%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	3.8%
5 リクルートホールディングス	サービス業	3.2%
6 東京海上HD	保険業	3.0%
7 三井不動産	不動産業	2.7%
8 任天堂	その他製品	2.5%
9 キーエンス	電気機器	2.5%
10 第一三共	医薬品	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 56)

・当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

東京海上日本株式 (2025年1月末現在)

特別勘定について

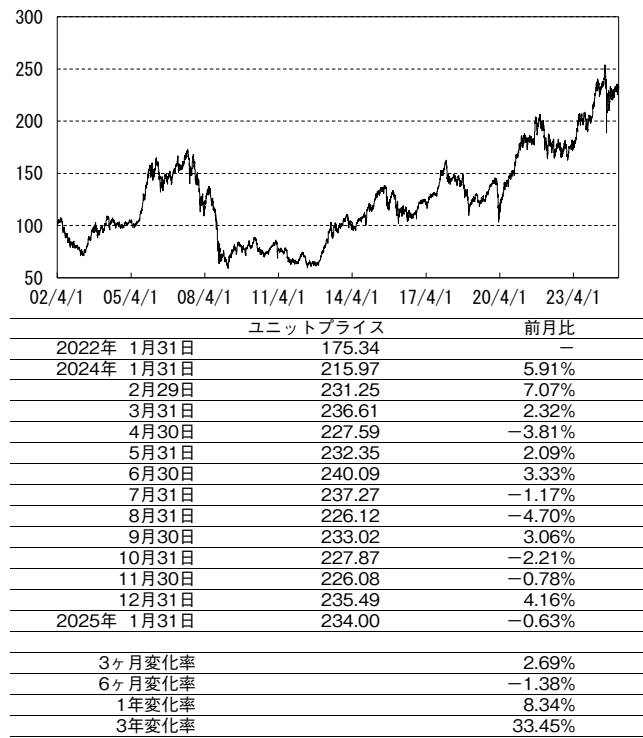
基本情報

【特別勘定の設定日】2002年4月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の株式に分散投資を行い、経済構造の変化や景気循環などに基づく業種配分と、個別銘柄の徹底した調査分析により、東証株価指数（TOPIX）を上回る収益率を目指します。
【投資対象となる投資信託】
日本株アクティブファンド

特別勘定 純資産総額の内訳 (単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	8	2.7%
有価証券等		
日本株アクティブファンド	300	97.3%
その他	—	—
資産合計	308	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	308	100.0%

ユニットプライスの推移



投資対象となる投資信託について

日本株アクティブファンド<適格機関投資家限定>の基本情報

【運用会社】東京海上アセットマネジメント
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX

運用状況

資産構成 (2025.1末現在)

市場	構成比
プライム市場	99.0%
スタンダード市場	—
グロース市場	—
その他	—
株式先物	—
短期金融資産など	1.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

上位10業種構成比 (2025.1末現在)

業種	ポートフォリオウェイト	ベンチマークウェイト
1 産業用エレクトロニクス	12.35%	7.59%
2 エンターテインメント	8.06%	3.76%
3 民生用エレクトロニクス	7.95%	7.47%
4 自動車	7.44%	8.18%
5 医薬・ヘルスケア	6.88%	5.91%
6 銀行	6.84%	9.09%
7 サービス	6.20%	4.49%
8 電子部品	5.67%	3.62%
9 機械	4.93%	6.24%
10 ITソフトウェア	4.86%	3.10%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ソニーグループ	民生用エレクトロニクス	5.5%
2 トヨタ自動車	自動車	4.3%
3 三菱UFJ F G	銀行	3.7%
4 リクルートHD	サービス	3.2%
5 三井住友 F G	銀行	3.1%
6 信越化学工業	基礎素材	3.0%
7 ソフトバンクグループ	通信・メディア	2.9%
8 第一三共	医薬・ヘルスケア	2.5%
9 日立製作所	産業用エレクトロニクス	2.5%
10 ルネサスエレクトロニクス	産業用エレクトロニクス	2.5%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合 (銘柄数 81)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

1月の国内株式市場は、TOPIXは0.13%上昇（配当込みベースは0.14%上昇）、日経平均株価は0.81%下落しました。上旬は、短期的な過熱感から利益確定売りが出たほか、米国の対中半導体規制強化やトランプ新政権の関税政策に対する警戒感が高まり、国内株式市場は下落しました。中旬は、米国政府がAI（人工知能）向け先端半導体に関する輸出規制の見直し案を発表したことを受けて、半導体関連企業の今後の業績に対する懸念が高まったものの、トランプ新政権は米中関係を過度に悪化させないとの期待感が高まり、国内株式市場はおおむね横ばいとなりました。下旬は、ソフトバンクグループが米国企業とともにAI関連事業に巨額の投資を行うと発表したことを受けて、半導体関連や電線などAIインフラ拡大の恩恵を受ける企業を中心に株価が上昇しました。しかし、その後は中国企業が低コストで高い性能を有する生成AIを開発したと報じられたことを受けて、半導体や電線などAIインフラ需要が従来想定よりも減少するとの見方が広がり、半導体や電線などの関連銘柄が下落した一方、日銀が追加利上げを決定したことを受けて銀行株が上昇したことなどから、国内株式市場は上昇しました。1月のセクター動向は、日銀の利上げを受けて業績拡大期待が高まった銀行、安定的な業績拡大に期待からITソフトウェアやエンターテインメントなどが騰落率の上位となった一方で、トランプ新政権の政策の悪影響を受けるとの懸念から金属・資源や基礎素材、公益などが騰落率の下位になりました。投資行動としては、業績見通しやバリュエーションの評価を行い、業種間で相対的な優位性が高いと考える銘柄への入れ替えを継続しました。以上の投資環境のもと、当ファンドの基準価額は前月末比上昇しました。

当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除しているからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現状等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式インデックス (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年4月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
東証株価指数（TOPIX）採用銘柄を中心に分散投資を行い、TOPIXの動きに連動する投資成果を目指します。
【投資対象となる投資信託】
日本株式インデックス・ファンドVA1

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	115.48	-
2024年 1月31日	154.89	6.30%
2月29日	163.85	5.78%
3月31日	169.18	3.26%
4月30日	165.13	-2.39%
5月31日	167.33	1.33%
6月30日	171.28	2.36%
7月31日	168.39	-1.69%
8月31日	164.95	-2.04%
9月30日	169.12	2.53%
10月31日	167.04	-1.23%
11月30日	165.83	-0.73%
12月31日	172.79	4.20%
2025年 1月31日	171.30	-0.86%
3ヶ月変化率		2.55%
6ヶ月変化率		1.73%
1年変化率		10.59%
3年変化率		48.33%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

日本株式インデックス・ファンドVA1 <適格機関投資家限定>の基本情報

【運用会社】ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（配当金込）

運用状況

■上位5業種構成比 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	17.37%
2 銀行業	8.88%
3 輸送用機器	7.40%
4 情報・通信業	7.38%
5 卸売業	6.33%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位20銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.88%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.07%
3 ソニーグループ	電気機器	2.91%
4 日立製作所	電気機器	2.52%
5 リクルートホールディングス	サービス業	2.15%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.95%
7 キーエンス	電気機器	1.65%
8 任天堂	その他製品	1.58%
9 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.40%
10 東京エレクトロン	電気機器	1.36%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

銘柄名	業種	構成比
11 伊藤忠商事	卸売業	1.25%
12 東京海上ホールディングス	保険業	1.22%
13 三菱商事	卸売業	1.19%
14 三井物産	卸売業	1.18%
15 ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.14%
16 日本電信電話	情報・通信業	1.12%
17 信越化学工業	化学	1.07%
18 HOYA	精密機器	1.01%
19 三菱重工業	機械	0.99%
20 第一三共	医薬品	0.99%

■主要指標 (2025.1末現在)

	ポートフォリオ
銘柄数	1,692
β値*	1.00
推定トラッキング・エラー (年率) *	0.01%

*対ベンチマーク

・当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としています。当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2000年12月18日

【資産分類】外国株式

【運用方針】

欧州株式を中心に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

Janus Henderson Pan European Fund

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	150.56	-
2024年 1月31日	204.70	2.18%
2月29日	216.80	5.91%
3月31日	221.97	2.38%
4月30日	228.21	2.81%
5月31日	233.47	2.30%
6月30日	234.59	0.48%
7月31日	223.10	-4.90%
8月31日	217.71	-2.42%
9月30日	219.88	1.00%
10月31日	222.34	1.12%
11月30日	210.05	-5.53%
12月31日	213.21	1.50%
2025年 1月31日	222.44	4.33%
3ヶ月変化率		0.05%
6ヶ月変化率		-0.29%
1年変化率		8.67%
3年変化率		47.74%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	21	4.2%
有価証券等		
Janus Henderson Pan European Fund	494	95.8%
その他	-	-
資産合計	515	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	515	100.0%

投資対象となる投資信託について

Janus Henderson Pan European Fund の基本情報

【運用会社】 ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・UK・リミテッド

【運用対象】 欧州株式

【ベンチマーク】 MSCI Europe Index (MSCI欧州インデックス)

運用状況

■組入上位5カ国 (2024.12末現在)

国名	構成比*
1 英国	23.57%
2 フランス	22.99%
3 ドイツ	18.83%
4 オランダ	10.22%
5 デンマーク	5.93%

*純資産総額に対する比率。

■業種別構成比* (2024.12末現在)

業種	構成比
資本財・サービス	23.18%
金融	14.80%
ヘルスケア	13.19%
情報技術	12.36%
素材	9.42%
一般消費財・サービス	6.78%
生活必需品	6.75%
コミュニケーション・サービス	5.22%
エネルギー	4.70%
公益事業	1.33%
不動産	1.00%
現金および現金等価物	1.26%

*純資産総額に対する比率。業種はGICSに基づく。

■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	構成比*
1 ノボ・ノルディスク	4.44%
2 ASMLホールディング	4.30%
3 SAP	3.71%
4 シーメンス	3.26%
5 シュナイダーエレクトリック	3.11%
6 シェル	2.81%
7 アストラゼネカ	2.67%
8 サンゴバン	2.64%
9 アリアンツ	2.58%
10 CRH	2.48%

*純資産総額に対する比率。

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.12末現在)

<市場概況>

12月の欧州株式市場（ユーロベース）は若干下落しました。米国で米連邦準備制度理事会（FRB）が2025年の利下げペース減速を示唆したことや、トランプ次期大統領がEU製品に関税を課すと示したことなどから市場に懸念が広がりました。また、ドイツでショルツ首相の信任投票が否決されたことや、フランスでバルニエ首相が不信任となりマクロン大統領がバイル氏を新たに首相に指名するなど、政治的な混乱が起こったことも嫌気されました。こうした環境下、欧州中央銀行（ECB）は景気下支えのため、0.25%の追加利下げを決定しました。

<今後の見通しと運用方針>

今後数か月は、米国による関税引き上げ方針と、中国の反応を注視する必要があると考えています。その一方で、欧州株式市場は他の市場と比べて出遅れていることから、質が高くグローバルに展開する企業への魅力的な投資機会があると見ています。このような環境下、市場が米大統領選の結果を消化し、トランプ氏の政策が適切に評価されるようになれば、ディフェンシブな動きが反転する可能性が高いと考えています。また、データセンターへの投資が継続していることや、サプライチェーンの自国回帰、各国の景気刺激策などが市場の成長を支えると見ています。長期的には、オートメーション化、デジタル化、脱グローバル化などの投資テーマに関連する企業が、今後の市場を牽引すると見て注目しています。こうした中、欧州にはバリュエーションが適正な大手グローバル企業が数多く存在することから、魅力的な投資機会が存在すると考えています。

・当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2000年12月18日
【資産分類】外国株式
【運用方針】
米国の成長株を中心に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。
【投資対象となる投資信託】
北米株式ファンド（適格機関投資家専用）

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	179.00	-
2024年 1月31日	265.93	8.66%
2月29日	281.72	5.94%
3月31日	294.24	4.44%
4月30日	292.65	-0.54%
5月31日	310.70	6.17%
6月30日	327.95	5.55%
7月31日	309.97	-5.48%
8月31日	298.75	-3.62%
9月30日	308.79	3.36%
10月31日	332.14	7.56%
11月30日	340.21	2.43%
12月31日	354.70	4.26%
2025年 1月31日	348.92	-1.63%

3ヶ月変化率	5.05%
6ヶ月変化率	12.56%
1年変化率	31.21%
3年変化率	94.92%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	66	3.5%
有価証券等		
北米株式ファンド (適格機関投資家専用)	1,841	96.5%
その他	-	-
資産合計	1,908	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,908	100.0%

投資対象となる投資信託について

北米株式ファンド（適格機関投資家専用）の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント
【運用対象】米国株式
【ベンチマーク】MSCI北米インデックス(税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)*

*2024年4月11日付でMSCI北米インデックスからMSCI北米インデックス(税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)、に変更となりました。なお、本変更に伴う特別勘定の運用方針の変更はありません。

運用状況

■国別上位投資比率 (2025.1末現在)

国別	比率
アメリカ	93.2%
カナダ	3.8%
アイルランド	1.5%
イギリス	0.8%
オランダ	0.3%
ルクセンブルグ	0.2%

■株式組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	通貨	業種	比率	銘柄名	通貨	業種	比率
1 MICROSOFT CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	6.60%	6 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカドル	メディア・娯楽	3.12%
2 NVIDIA CORP	アメリカドル	半導体・半導体製造装置	6.55%	7 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカドル	銀行	2.74%
3 APPLE INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	5.13%	8 PROCTER & GAMBLE CO	アメリカドル	家庭用品・パーソナル用品	2.52%
4 ALPHABET INC-CL C	アメリカドル	メディア・娯楽	4.98%	9 BROADCOM INC	アメリカドル	半導体・半導体製造装置	2.46%
5 AMAZON.COM INC	アメリカドル	一般消費財・サービス流通	4.41%	10 VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカドル	金融サービス	2.04%

※「国別上位投資比率」「株式組入上位10銘柄」は、マザーファンドの状況です。
※「国別上位投資比率」「株式組入上位10銘柄」の比率は対純資産総額です。

(銘柄数 101)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

<運用概況>

1月の北米株式市場は上昇しました。上旬は、12月のISM製造業景況感指数が9カ月ぶりの高水準となったことを受けて、立ち上がりは上昇しましたが、続いて発表された12月のISM非製造業景況感指数や12月の雇用統計で米景気の底堅さが示されたことで利下げ観測が後退し、市場は下落に転じました。中旬は、物価関連指標が市場予想を下回り、インフレ懸念が和らいだことや、国際通貨基金(IMF)が発表した世界経済見通しで2025年の米国成長率が2.7%に引き上げられたことなどが支えとなり、市場は上昇しました。下旬は、トランプ新大統領が巨額の人工知能(AI)開発投資計画を発表したことなどを追い風に続伸した後、中国企業が開発した生成AIへの警戒感から反落しました。政策金利の据え置き、米政権による関税引き上げなども市場の重しとなりました。

1月の当ファンドのパフォーマンスは、ベンチマークを上回りました。業種別では、金融、コミュニケーション・サービス、公益事業セクターなどが相対パフォーマンスにプラスに寄与した一方、情報技術、生活必需品セクターなどがマイナスに影響しました。

当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としています。当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除しているからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】1999年8月1日
 【資産分類】バランス
 【運用方針】
 日本を含む世界の株式、債券、円短期金融商品を主要投資対象とし、独自の計量モデルによるアクティブ運用を行い、長期的に安定した運用成果を目指します。原則として、為替ヘッジを行います。
 【投資対象となる投資信託】
 ダ・ヴィンチVA

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	118.28	-
2024年 1月31日	111.41	0.37%
2月29日	112.26	0.77%
3月31日	114.90	2.35%
4月30日	111.64	-2.84%
5月31日	112.78	1.03%
6月30日	113.51	0.64%
7月31日	114.00	0.44%
8月31日	114.39	0.34%
9月30日	116.14	1.53%
10月31日	114.34	-1.55%
11月30日	115.86	1.33%
12月31日	114.94	-0.79%
2025年 1月31日	115.24	0.26%
3ヶ月変化率		0.79%
6ヶ月変化率		1.09%
1年変化率		3.44%
3年変化率		-2.57%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	8	3.1%
有価証券等		
ダ・ヴィンチVA	259	96.9%
その他	-	-
資産合計	267	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	267	100.0%

投資対象となる投資信託について

ダ・ヴィンチVAの基本情報

【運用会社】ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
 【運用対象】日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品を主要投資対象とします。(株式先物・債券先物取引等を含みます。)
 【ベンチマーク】MSCIワールドインデックス40%+JPモルガン・ガバメントボンド・インデックス(グローバル)40%(ともに100%為替円ヘッジ、円ベース)+日本円1か月TIBOR20%

運用状況

■資産構成 (2025.1末現在)

	構成比
世界株式	45.8%
世界債券	8.8%
円短期金融商品	45.4%
合計	100.0%

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

<資産クラス間配分>

資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が低いことから、円短期金融商品に対して弱気の見通しとしている。大型株/小型株の配分に関しては、大型株に対してやや弱気の見通しとしている。大型株はモメンタムの観点で評価が低いことからやや弱気の見通しとしている。一般優良株/テクノロジー株間の配分に関しては、モメンタムの観点からテクノロジー株に対してやや弱気の見通しとしている。

<株式国別配分>

株式国別配分においては、スペインやドイツに対して強気の見通しとする一方で、アメリカやイタリアに対して弱気の見通しとしている。スペインに対しては、リスクプレミアムおよびバリュエーションの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。ドイツに対しては、モメンタムおよびバリュエーションの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、アメリカに対しては、バリュエーションおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。イタリアに対しては、リスクプレミアムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

<債券国別配分>

債券国別配分においては、フランスやカナダに対して強気の見通しとする一方で、ドイツやオーストラリアに対して弱気の見通しとしている。フランスに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。カナダに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、ドイツに対しては、マクロおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、モメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

<通貨配分>

通貨配分においては、アメリカや日本に対して強気の見通しとする一方で、イギリスやユーロ圏に対して弱気の見通しとしている。アメリカに対しては、バリュエーションおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。日本に対しては、ファンダフローおよびバリュエーションの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、イギリスに対しては、バリュエーションおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。ユーロ圏に対しては、ファンダフローおよびバリュエーションの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界債券ヘッジ (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

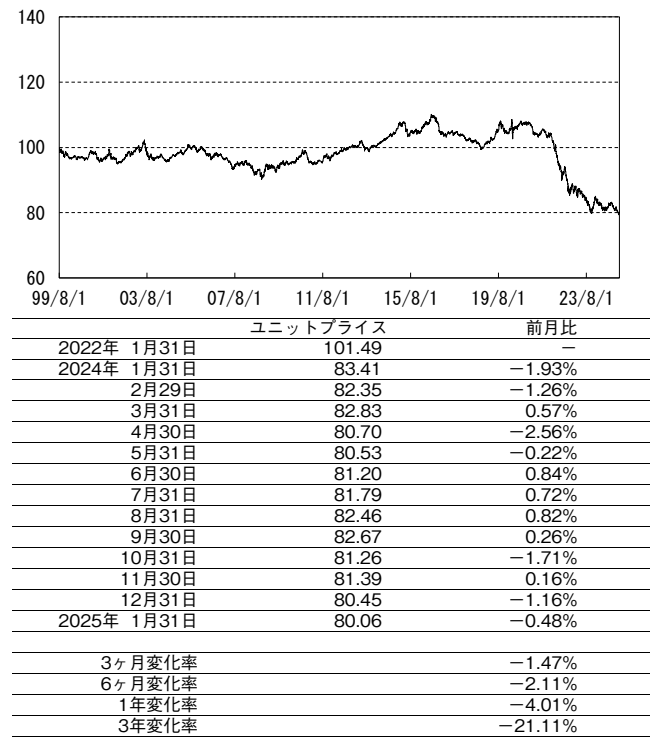
【特別勘定の設定日】1999年8月1日
【資産分類】世界債券
【運用方針】
日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行い、為替変動リスクの低減を図ります。
【投資対象となる投資信託】
JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	7	1.7%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり)	460	98.3%
その他	—	—
資産合計	468	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	468	100.0%

ユニットプライスの推移



投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン
【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債
【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ 円ベース）

運用状況

国別通貨別構成比率 (2025.1末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.6%	45.8%	-0.3%
カナダ	1.8%	1.6%	0.1%
メキシコ	0.7%	1.0%	0.1%
日本	10.0%	9.7%	98.5%
オーストラリア	1.1%	0.8%	0.0%
ニュージーランド	0.2%	—	—
シンガポール	0.3%	0.6%	0.1%
中国	10.4%	9.8%	0.3%
マレーシア	0.5%	0.5%	0.6%
インドネシア	—	0.1%	0.0%
ユーロ	26.5%	34.3%	0.3%
英国	4.6%	4.6%	0.1%
ドイツ	0.2%	0.3%	0.1%
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.1%

組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	4.00%	2029/7/31	4.2%
2 日本国債	0.10%	2031/9/20	3.5%
3 フランス国債	—	2025/2/25	2.3%
4 アメリカ社債	1.875%	2027/4/27	2.3%
5 アメリカ特殊債	6.00%	2025/2/13	2.2%
6 フランス国債	2.75%	2030/2/25	1.9%
7 アメリカ国債	4.25%	2026/12/31	1.5%
8 ドイツ国債	2.20%	2034/2/15	1.4%
9 イタリア国債	3.00%	2029/8/1	1.3%
10 中国国債	2.68%	2030/5/21	1.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 277）

修正デュレーション=平均6.69年（ベンチマーク=同6.86年）

・当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】1999年8月1日
 【資産分類】世界債券
 【運用方針】
 日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。
 【投資対象となる投資信託】
 JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	23	2.9%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド （為替ヘッジなし）	810	97.1%
その他	—	—
資産合計	834	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	834	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	138.42	—
2024年 1月31日	145.37	0.90%
2月29日	146.60	0.85%
3月31日	148.56	1.33%
4月30日	148.34	-0.15%
5月31日	150.55	1.49%
6月30日	154.21	2.43%
7月31日	151.00	-2.08%
8月31日	146.23	-3.16%
9月30日	148.50	1.56%
10月31日	151.22	1.83%
11月30日	149.06	-1.43%
12月31日	152.43	2.26%
2025年 1月31日	149.51	-1.92%
3ヶ月変化率		-1.13%
6ヶ月変化率		-0.99%
1年変化率		2.85%
3年変化率		8.01%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン
 【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債
 【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ベース）

運用状況

■国別通貨別構成比率（2025.1末現在）

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.6%	53.2%	45.7%
カナダ	1.8%	2.5%	1.8%
メキシコ	0.7%	0.9%	0.7%
南アフリカ	—%	—%	0.0%
日本	10.0%	11.1%	10.0%
オーストラリア	1.1%	1.1%	1.1%
ニュージーランド	0.2%	—%	0.2%
シンガポール	0.3%	0.5%	0.4%
中国	10.4%	10.2%	10.3%
マレーシア	0.5%	0.5%	0.5%
インドネシア	—%	0.1%	0.0%
ユーロ	26.5%	29.3%	24.3%
英国	4.6%	4.8%	3.9%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.2%

	ベンチマーク	債券	通貨
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.2%
スイス	—%	—%	-0.1%
ポーランド	0.5%	0.5%	0.5%
ノルウェー	0.1%	0.3%	0.2%
チェコ	—%	—%	0.1%
イスラエル	0.3%	—%	0.3%
キャッシュ等		-15.4%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2025年2月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

■組入上位10銘柄（2025.1末現在）

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	4.00%	2029/7/31	5.1%
2 日本国債	0.10%	2031/9/20	3.9%
3 アメリカ特殊債	6.00%	2025/2/13	2.2%
4 アメリカ国債	3.37%	2033/5/15	2.2%
5 アメリカ国債	4.37%	2034/5/15	2.1%
6 フランス国債	2.75%	2029/2/25	2.0%
7 日本国債	0.60%	2033/12/20	1.9%
8 アメリカ国債	4.12%	2026/10/31	1.6%
9 アメリカ社債	3.75%	2031/4/1	1.6%
10 フランス国債	2.75%	2030/2/25	1.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 225）

修正デュレーション＝平均6.96年（ベンチマーク＝同6.86年）

・当資料は、投資型年金I（変額個人年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金I（変額個人年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米国債券 (2025年1月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年8月4日
 【資産分類】 外国債券
 【運用方針】
 米国の公社債、モーゲージ証券、資産担保証券等に分散投資を行い、元本の安全性に配慮しながら、慎重な資産運用の下に、トータル・リターンの拡大を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。
 【投資対象となる投資信託】
 Janus Henderson Flexible Income Fund

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	170.08	-
2024年 1月31日	193.95	3.17%
2月29日	195.38	0.74%
3月31日	198.32	1.51%
4月30日	200.32	1.01%
5月31日	202.04	0.86%
6月30日	211.13	4.50%
7月31日	203.07	-3.81%
8月31日	197.18	-2.90%
9月30日	196.62	-0.28%
10月31日	205.46	4.49%
11月30日	202.83	-1.28%
12月31日	208.94	3.02%
2025年 1月31日	206.05	-1.39%
3ヶ月変化率		0.28%
6ヶ月変化率		1.46%
1年変化率		6.24%
3年変化率		21.15%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	10	2.7%
有価証券等		
Janus Henderson Flexible Income Fund	389	97.3%
その他	-	-
資産合計	400	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	400	100.0%

投資対象となる投資信託について

Janus Henderson Flexible Income Fund の基本情報

【投資顧問会社】 Janus Henderson Investors US LLC
 【運用対象】 米国債券
 【ベンチマーク】 Bloomberg Barclays US Aggregate Bond Index

運用状況

■資産別構成比 (2024.12末現在)

資産クラス	構成比
モーゲージ債	25.5%
投資適格債	24.2%
国債	14.2%
不動産抵当証券担保証券	11.2%
商業用不動産担保証券	6.7%
資産担保証券	4.9%
ハイイールド社債	4.3%
バンクローン	4.2%
ローン担保証券	1.8%
その他	0.1%
現金および現金等価物	2.8%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

■格付別構成比 (2024.12末現在)

格付	構成比
Aaa	11.6%
Aa	41.0%
A	5.3%
Baa	24.6%
Ba	8.7%
B	0.9%
格付無し	5.2%
株式	-
現金および現金等価物	2.8%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	構成比
1 United States Treasury Note/Bond 4.25 11/15/2034	3.4%
2 United States Treasury Note/Bond 4.13 11/30/2029	2.6%
3 United States Treasury Note/Bond 4.63 06/30/2026	2.2%
4 United States Treasury Note/Bond 4.25 12/31/2026	2.1%
5 Janus Henderson Asset-Backed Securities Fund Z Acc USD Hedged	2.0%
6 United States Treasury Note/Bond 4.25 08/15/2054	1.7%
7 Citigroup Inc 5.59 11/19/2034	1.2%
8 Freddie Mac Pool 6.00 09/01/2053	0.9%
9 Freddie Mac STACR REMIC Trust 2021-DNA6 6.07 10/25/2041	0.8%
10 Morgan Stanley Capital I Trust 2015-UBS8 3.81 12/15/2048	0.7%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

・当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

● 特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2000年7月1日

【資産分類】 短期金融商品

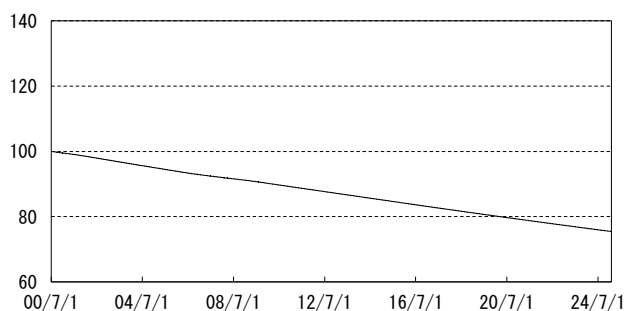
【運用方針】

円建ての預貯金、短期金融商品を中心に投資を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

【投資対象】

特に定めません

■ ユニットプライスの推移



■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	555	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	555	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	555	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	78.20	—
2024年 1月31日	76.34	-0.10%
2月29日	76.27	-0.10%
3月31日	76.19	-0.10%
4月30日	76.12	-0.10%
5月31日	76.04	-0.10%
6月30日	75.97	-0.10%
7月31日	75.89	-0.10%
8月31日	75.81	-0.10%
9月30日	75.74	-0.10%
10月31日	75.66	-0.10%
11月30日	75.58	-0.10%
12月31日	75.51	-0.10%
2025年 1月31日	75.43	-0.10%
3ヶ月変化率		-0.30%
6ヶ月変化率		-0.60%
1年変化率		-1.20%
3年変化率		-3.54%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

・当資料は、投資型年金I(変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型年金I(変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

ご負担いただく費用について

■運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項目	費用
保険関係費用(保険契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.2%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.5% 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項目	適用	費用
契約維持費	基本保険金額が150万円未満の契約の場合	毎月400円
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.2%
解約控除	解約するとき	積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)
	減額するとき	減額に相当する積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)

■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

●保証期間付終身年金、確定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

●特別勘定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用 (年金管理費)	特別勘定年金の維持管理等に必要な費用 (基本保険金額を最低保証するための費用および災害死亡保険金などの費用を除きます)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.17%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	保険関係費用(年金管理費)以外で、特別勘定の運用に係わる費用として支払われます。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.5% 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金Ⅰ(変額個人年金保険)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- 「投資型年金Ⅰ(変額個人年金保険)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/ ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ ☎ 0120-155-730 受付時間 平日9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
----------------	--